

一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会

令和3年3月 web 理事会議事録

日時：令和3年3月22日(月) 18時 - 19時30分

出席理事：松本理事長（52回）、市来副理事長（48回）、吉野（44回）、  
河瀬（49回）島津（53回）窪地（58回）菅（61回）澤藤（67回）石井（70回）  
川久保（73回）下島（76回）和田（84回）竹内（91回）水野（94回）

学内教授理事：北川副理事長（65回）、浅村（62回）志水（65回）

欠席：小澤（60回）黒田（61回）半田（80回）

出席：17名/20名

監事：熊井（46回）尾原（72回）

陪席：同窓会幹事：岡林（78回）木村（79回）朝倉（81回）

堤健太郎（堤法律事務所、顧問弁護士）、岡田泰（岡田税理士事務所）

篠田（教室100周年記念講演会担当者，73回）北郷（教室100周年  
記念講演会担当者，73回）八木（国際委員会委員長，77回）

第35回日本内視鏡外科学会 藤田医科大学 宇山一朗会長（64回相）

第52回日本心臓血管外科学会 埼玉医科大学 鈴木孝明会長（62回）

刀林会事務所 本間

上記の通り理事20名中17名、過半数の出席があったので、松本理事長は定款  
39条に基づき議長として開会を宣し、議事に入った。

## 議事次第

### 報告事項：

1. 外科学教室 100 周年記念募金返金の件
2. 委員会報告
  - (ア) 刀林賞選考委員会
  - (イ) 広報委員会
  - (ウ) 国際委員会

### 審議事項：

- 第 1 号議案 一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会（刀林会）  
総会開催の件
- 第 2 号議案 故阿部令彦名誉教授 教室葬日程の件
- 第 3 号議案 選挙管理委員会 委員長・委員指名承認の件
- 第 4 号議案 選挙管理委員会規則制定の件
- 第 5 号議案 学会支援募金口座開設の件
- 第 6 号議案 学会支援募金活動承認の件
- 第 35 回日本内視鏡外科学会総会 藤田医科大学 宇山一朗会長（64 回相当）
- 第 52 回日本心臓血管外科学会 埼玉医科大学 鈴木孝明会長（62 回）
- 第 7 号議案 刀林賞選考結果承認の件 島津刀林賞選考委員会委員長

### 報告事項

1. 外科学教室 100 周年記念募金返金の件

篠田国際医療福祉大学三田病院教授（100 周年記念担当係、現国際医療福祉大学三田病院教授、73 回） より以下の報告があった。

- ① 昨年報告した通り、募金先の NPO 法人が認定ではなく認証であったことにより、寄付金減免処理は出来ないことが判明したことに伴い、寄付金を返金にすることになった件について事務作業を担当してきた。年末から年始にかけて

て、寄付金全額返金希望している方には全額返金する方針で寄付者総ての意向を電話確認した。全額返金希望者は数少ないがいた。また控除部分の返金希望者もいた。税理士の意見は、控除金額は納税者の年収で異なり実際に控除分を正確に知ることはとても難しく、個人情報の問題もあり控除金額算定は現実的ではないとのことだった。そのため控除分返金を希望している先生には寄付金の半額を返金すれば、修正申告しても費用を賄うのに十分と考えた。返金不要の先生にはそのままとすることにして対応したい。

- ② 個々の希望をすでに聞いているが、税理士からの指摘で、返金するかしないかにかかわらず、寄付者全員に返金手続きの手紙をお送りすることになった。失礼のないように、返金を希望していない先生はお詫び文を追加することにした。手紙は今月中に発送予定であると報告された。

## 2. 委員会報告

・刀林賞選考委員会（第7号議案の刀林賞選考委員会結果承認の件を兼ねる）  
島津元秀委員長より報告があった

3月16日にwebにて選考委員会が行われ、委員会の議事録署名人に黒田先生、浅村先生にお願いした。

- ① 今年は、6題の論文の応募があり、どれも非常に優秀であった。12名の選考委員から評価表を提出してもらい集計した結果、松田諭論文が刀林賞候補者に内定とした。
- ② 僅差の茂田浩平論文、臨床研究でインパクトファクターが高い坊岡英祐論文が刀林奨励賞候補者に内定した。
- ③ 島津委員長から委員会規則に則り副委員長に加勢田静先生（53回）を委員長指名し委員会の承認を得たと報告があった。

④ 今回は審査辞退もあったが、刀林賞は慶應外科同窓会の内部の賞であるので、慣例に従って今期は論文の共著者や推薦者でも評価者になれることにした。ただし、共著者から辞退の意向があればお受けすることにした。

理事会で上記の選考経過が審議・承認され、令和 2 年度刀林賞、刀林奨励賞が決定した。

吉野理事から選考委員会委員の評価者としての取り扱いについて明文化した方が良いとの提案があり、理事長から島津委員長に規則の文章案作成を理事会後依頼した。

・国際委員会（八木洋委員長）

三橋記念国際交流基金からの留学助成に清水隆弘君（88 回）を第 1 号として決定し、30 万円の助成金の振り込み手続きを行った。また、2021 年度も新しく申請者がいるので募集締め切り後、委員会にて審議予定と報告された

・広報委員会（石井良幸副委員長）

4 月 2 日に『刀林』117 号の編集会議が開催されることが報告された。

## 審議事項

### 第 1 号議案・第 2 号議案

令和 3 年度の総会は 6 月 19 日（土）に開催予定されているが、第 2 号議案に記載されている阿部令彦先生の教室葬を総会と同日に開催することを検討していると議長から発言があり、進行案について尾原監事から説明があった。計画としては法人の理事会・評議員会を始めに開き、その後教室葬、刀林会全員集会、懇親会の順番を検討している。懇親会はコロナ感染の動向によっては省略するとされた。医学部長・三四会理事長におかれては出席可能との返事を頂いてい

る。予算等についてはホテル側と協議中とされ、出席理事全員から異議なく承認が得られた。

### 第3号議案・第4号議案

定款第30条によって理事の任期は2年とされている。次回社員総会で新理事を決定する必要がある。

そのためには定款第29条に沿って選挙管理委員会を組織して選挙を行わなくてはいけない。規則がなかったので選挙管理委員会規則を堤弁護士に新しく作成いただいた。

堤弁護士：

前回選挙は過渡期ということもあり、選挙管理委員会はなかった。例外的に慣例に従い事務局が代行して選挙を行った。今回は定款に従い選挙管理委員会を組織する必要があるので、取り急ぎ規則を作成した。委員会の選挙に関する関わり方は色々な考え方があるが、当会としては最小限度の関わりとして公正に行われたことの確認、選挙に関する文書は選挙管理委員長の名前で発出、開票の立会人を指名、その立会人の立会いのもとで開票する、異議があった場合は委員会で審議して決定するというような形で関与することを想定した。

松本理事長：

今回提案した選挙管理委員会規則第2条の組成の1項より、正会員の中から委員を3名以上委嘱するとある。外科学教室は4診療科から成っており、4診療科で候補者をそれぞれ1名出し、4名を推薦したい。また、理事長としては立ち合い人ではなく、開票に委員が立ち会うという理解であった。

堤弁護士

委員自らが立ち会うのであればそれに越したことはなく、自らを立会人に指名

したということで良いかと思う。

吉野理事：

定款にない委員会であり、定款の変更が必要である。

議事録の記載がなかった。

委員の賛否両論をどうするのかのチェックをお願いしたい。

堤弁護士：

メールをいただいた中では、委任状の扱いについては、委員会に関する総則的な規定としては委員会設定要綱があると認識しており、そこでは委任状を認めるとなっている。

可否同数の時の議決方法としては委員長が決定すること、議事録の作成義務についても、委員会設定要綱に定めがある。現実的に考えれば、委員会設定要綱と同じ内容でよいと考えるが、その場合、更にここでも重ねて定めるかどうかである。

施行日は定款の変更の手續も伴うので、社員総会を臨時に開かないといけない、その承認日が施行日となる。

吉野理事

既存の委員会についても、委員会設置要綱に沿っているが、それぞれの委員会  
が内容に応じて記述しているので、選挙管理委員会規則でも記述すべき。法人化されたので、法律に反しない形で理事長と協議しながら進めてもらいたい。

理事長

選挙管理委員会規則を整備していき、理事会・社員総会で承認を図り、全員集  
会で発表したい。

選挙管理委員会	委員・委員長として	
呼吸器	菱田智之	77 回相（委員長）
心臓血管	高橋辰郎	88 回
一般・消化器	田中真之	86 回
小児	加藤源俊	86 回

上記 4 名が事務局より推薦され、全員の理事から承認された。

## 第 5 号議案

学会支援募金口座開設の件

刀林会は公益法人ではないので税務上の寄付金の控除を受けることはできないが、控除関係なく、寄付をするという会員の声もあり学会支援募金専用口座を作成したい。ただ、公益法人への移行をどうするのかを、将来構想委員会として北里大学名誉教授の渡邊昌彦先生、東海大学小澤壯治先生と協議していく計画である。

市来寄、北川両副理事長とも寄付受け皿として口座開設に賛成であるとの意見があり、理事全員からも異議なく承認された。

## 第 6 号議案

学会支援募金活動承認の件

第 35 回日本内視鏡外科学会 宇山一朗会長より、学会開催趣意書に沿って資金計画等の説明があった。

理事全員から異議はなく承認された。

第 52 回日本心臓血管外科学会 鈴木孝明会長より、学会開催趣意書に沿って資金計画等の説明があった。

理事全員から異議はなく承認された。

議長は以上をもって、本日の議事は終了した旨を述べ、閉会を宣言し解散した。